

各 位

会 社 名 株式会社アプラスフィナンシャル
 代 表 者 名 代表取締役社長 常峰 仁
 (コード番号 8589 大証第一部)
 本 社 事 務 所 東京都新宿区新小川町 4 番 1 号
 責 任 者 取締役財務部長 野 口 郷 司

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回業績予想 (A)	38,700	1,500	1,500	1,000	0.82
今回業績予想 (B)	36,500	3,500	3,500	2,700	2.21
増減額 (B - A)	△2,200	2,000	2,000	1,700	—
増減率 (%)	△5.7%	133.3%	133.3%	170.0%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	43,182	1,902	1,957	2,052	8.70

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回業績予想 (A)	77,400	5,000	5,000	4,000	3.28
今回業績予想 (B)	70,500	7,000	7,000	5,500	4.51
増減額 (B - A)	△6,900	2,000	2,000	1,500	—
増減率 (%)	△8.9%	40.0%	40.0%	37.5%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	85,067	△2,957	△2,906	△7,702	△27.61

(注記) 今般の業績予想の修正は、発表時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後のさまざまな要因により異なる可能性があります。

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間において、営業利益・経常利益・四半期純利益が当初予想を上回ることが確実となったため、業績予想を上方修正いたします。営業収益は、今年 6 月の貸金業法完全施行への事前対応として与信基準を厳格に運営し、キャッシング・ローン債権の質の向上を図りながら、ボリュームをコントロールした結果、当初予想を下回る見通しです。しかしながら一方で、物件費やクレジットコストの減少により、営業費用が 330 億円と当初想定した 372 億円を大きく下回る見込みとなりました。

当社グループは、景気低迷や業法改正の影響など経営環境の変化を受け、本年 5 月に中期経営計画を策定し、従来のビジネスモデルからの転換を図るため融資収益への依存から脱却し、本業の収益性を発展的に高めることに取組んでおります。その一環として、本業の収益性強化を目指した「質を伴った量の拡大を目指す営業体制の確立」、バックヤードの低コスト化を目指した「他を凌駕するローコストオペレーション体制の確立」に取組み、ローコストオペレーション体制においては関連センターの再編等が奏功し、物件費が想定を上回るペースで減少しております。

また、前述の通り、貸金業法完全施行を見据え、平成 19 年に策定した経営変革計画を起点に厳格な与信基準を継続的に運用し、ローン・キャッシング債権を中心としたポートフォリオの是正に取り組んでまいりました。その結果、良質債権への入れ替わりが急速に進み、足元では与信基準を厳格化して以降の債権が大半を占める状況となりました。これに加え、債権の回収力の強化に努め、新生銀行グループの IT 技術を活用した新回収システムを段階的に導入したことにより、回収体制が飛躍的に向上いたしました。これらの取組みが当期に入り結実したことにより、クレジットコストが大幅に減少する見込みとなりました。

今後、コアビジネスとして位置付けた本業の分野においても、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が展開する TSUTAYA との提携事業や住宅関連分野でのローン商品において、計画を上回る推移を見せており、大きな成長を見込んでおります。

通期の業績予想につきましては、これら本業における収益性強化に加え、年度後半にかけましても現在の傾向がある程度継続すると考え、予想数値を見直しいたします。営業収益は 705 億円と当初予想の 774 億円を下回る見通しであり、繰延税金資産の若干の取り崩しの必要があると予測しておりますが、営業費用の減少により、営業利益 70 億円（当初予想 50 億円）、経常利益 70 億円（当初予想 50 億円）、当期純利益 55 億円（当初予想 40 億円）と増益を見込んでおります。

以 上

本件に関する株主様からの問い合わせ先	総務部	TEL 03-5229-3737	
本件に関する報道機関からの問い合わせ先	企業戦略部	TEL 03-5229-3986	金崎